八　社会福祉費　人口

市となり、又は市の区域の変更があつた場合における当該市の数値は、当該市が前年度中において当該年度の四月一日における区域をもつて存在していたものと仮定して算定した数値とする。

［3～5　略］

1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア、算式イ、算式ウ、算式エ、算式オ(1)、算式オ(2)、算式オ(3)及び算式カにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

$$\frac{\alpha \times B \times 100}{A}$$

算式アの符号

［略］

α　次の算式によつて算定した率（小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、公立保育所在籍人員数、公立幼保連携型認定こども園在籍人員数及び公立認定こども園在籍人員数（追加分）の合計数（以下「公立保育施設在籍人員数（基礎分）」という。）が0の場合は1.000とする。）

算式

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.607}} + d \right) - 0.5 \times e \geqq f \text{のとき}$$

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.607}} + d \right) - 0.5 \times e$$

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.607}} + d \right) - 0.5 \times e < f \text{のとき}$$

$$\left(1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.607}} + d \right) - 0.5 \times e - f \right) \times \frac{3}{5} + f$$

1.5 ×｛（a × b × c ／ 1.607）＋ d｝－ 0.5 × e 及び［1.5 ×｛（a × b × c ／ 1.607）＋ d｝－ 0.5 × e － f］× 3 ／ 5 に小数点以下3位未

八　社会福祉費　人口

一日における区域をもつて存在していたものと仮定して算定した数値とする。

［3～5　同上］

1　密度補正に用いる密度は、次の算式ア、算式イ、算式ウ、算式エ、算式オ(1)、算式オ(2)、算式オ(3)及び算式カにより算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

$$\frac{\alpha \times B \times 100}{A}$$

算式アの符号

［同左］

α　次の算式によつて算定した率（小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、公立保育所在籍人員数、公立幼保連携型認定こども園在籍人員数及び公立認定こども園在籍人員数（追加分）の合計数（以下「公立保育施設在籍人員数（基礎分）」という。）が0の場合は1.000とする。）

算式

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.602}} + d \right) - 0.5 \times e \geqq f \text{のとき}$$

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.602}} + d \right) - 0.5 \times e$$

$$1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.602}} + d \right) - 0.5 \times e < f \text{のとき}$$

$$\left(1.5 \times \left(\frac{a \times b \times c}{\underline{1.602}} + d \right) - 0.5 \times e - f \right) \times \frac{2}{5} + f$$

1.5 ×｛（a × b × c ／ 1.602）＋ d｝－ 0.5 × e 及び［1.5 ×｛（a × b × c ／ 1.602）＋ d｝－ 0.5 × e － f］× 2 ／ 5 に小数点以下3位未